

講演「沈黙する日本メディア」

～ジャニーズ報道から考える～

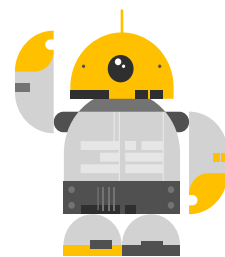
講師 水島宏明氏

上智大学文学部新聞学科教授
ジャーナリスト

BBC（英国放送協会）が2023年3月に放送した「Jポップの捕食者」は、日本メディアの体質を鋭く浮き彫りにした。ジャニーズ事務所（旧名）の創始者ジャニー喜多川氏（故人）の男性アイドルに強いた性加害の数々は無論、深刻極まりない人権侵害だった。しかし、本来、糾弾されるべき事件が数10年も一部メディアにとどまったのは、なぜか？ 芸能ネタ、まして性的スキャンダルとみなした主流メディアの“無自覚”、またダントツの勢力を誇る同事務所に対する業界ぐるみの“忖度”、そしてジャーナリズムの世界的“権威”からの指摘を端緒にした情報洪水……。水島氏はBBCの放送直後から、知っていても書かない（取り上げない）「日本メディアの沈黙」を指摘し、メディアの内部検証ぶりをチェックしてきた。BBCの番組には、札幌の市民グループ「メディア・アンビシャス」が今回、特別賞を贈った。



1957年、札幌市生まれ。札幌テレビ放送（STV）に勤務していた1987年、母子家庭の母親が生活保護を受給できず餓死した事件を取り上げたドキュメンタリー番組「母さんが死んだ 生活保護の周辺」でギャラクシー賞などを受賞。その後、日本テレビに転じ、「NNNDドキュメンタリー」チーフディレクターを務め、「ネットカフェ難民」にいち早く注目。12年に日本テレビ退社後、法政大学を経て現職。著書に「内側から見たテレビ 一やらせ・捏造（ねつぞう）・情報操作の構造」（朝日新書）など。



3月9日（土）午後2時～

午後1時30分開場
北大学術交流会館小講堂
※入場無料

第1部：メディア・アンビシャス
表彰式（午後2時開始）
第2部：水島氏講演（同3時すぎ）

主催：北海道大学大学院メディア・コミュニケーション研究院
東アジアメディア研究センター

メディア・アンビシャス（札幌） 問い合わせ090-9755-6292（山本）